

この通信は、大浜学園に関わる皆さんに、その趣旨と活動内容を理解していただく手立てとして発行しました。ぜひ、一読ください。

# 大浜学園通信

平成26年10月27日

発行 事務局

(千浜小)

《平成26年度テーマ：「ともに高めあい、夢にむかってがんばる子」の育成》

## 第2回大浜中学校区子ども育成支援協議会

9月29日（月）に大東支所で「第2回大浜中学校区子ども育成支援協議会」が開催されました。

永田一彦会長のあいさつで次のような話がありました。

- ・ 9月に発生した神戸の誘拐事件から、抑止のために地域上げての声掛けが重要である。
- ・ 子ども育成支援の仲間を増やしていくために、現在地域で活動してくださる方を学園だより等で紹介している地区がある。
- ・ 小学校6年生と中学校3年生で実施した学力学習状況調査から、「学力」はテストではかれるものだけではなく、興味・操作・発想力が重要な要素となり多面的とらえていかななくてはならない。テストではかれないような学力を伸ばすきっかけを地域ぐるみでしていくことが本会の存在である。

その後の協議では、下期の計画と企画会からの活動提案がされ、その内容や活動方法等の質疑がされました。企画会からの提案と今後の取組については裏面を御覧ください。



### 企画会

子ども育成支援協議会の全メンバー（28人）で話し合っても、意見を提案したりまとめたりすることができにくいので、立案機関として企画会が位置づけられました。

本年度のメンバーは青少年健全育成会代表 羽田秀樹さん、地域コーディネーター 加藤喜久夫さん、太田和良さん、学校代表校長 千浜小 大石英次 です。（記録として事務局教頭が同席）

今回の協議会に向けて、2回の企画会を行いました。

## <<企画会からの提案事項>>

- 1 県下一斉防災訓練(12月)、青少年市内一斉美化活動(8月)の地区ごとの内容をまとめて、案内通知にして、学校を通して園児・児童・生徒にわたるようになっていく。
- 2 参観会・懇談会の様子を見て、保護者にマナーや出席の呼びかけをする
- 3 携帯電話、スマホ、ゲーム機等を使ったメール、ラインの夜間一定時間使用の制限を呼びかける。
- 4 あいさつの推進  
のぼり旗を作成して、各園・校のあいさつ運動で活用していく。
- 5 子ども教室の実施  
土曜日の午前に大東地区の施設(大東支所や南部体育館「しーすぽ」)を利用して凧作り、手芸、トランポリン、カヌー、つり大会等の活動を実施していく。
- 6 学校支援ボランティアの募集をする。
- 7 ノーメディアデー運動を推進する。
- 8 登下校の見守り隊を募集する。
- 9 部活動支援をする。

第2回大浜中学校区子ども育成支援協議会で提案・協議し、10月7日に第3回の企画会を開催しました。そこでは、提案した活動について、①やれるもの・やることの順番付け、②活動の主体となる組織の振り分けを行いました。

## <<今後の活動計画>>

活 動	今後の取組	活動の主体
県下一斉防災訓練(12月) 青少年市内一斉美化活動(8月)	・防災訓練は各区に確認して、一覧にして中学生に配布する。	コーディネーター
参観会・懇談会の参観	・当面、各校の参観懇談会を見て、現状を把握する	各校から参観案内を出す。
携帯等の夜間時間制限	・各PTAで検討していく。 (県PTAからはすでに通知が出ている)	各校保護者
あいさつの推進	・あいさつ啓発ののぼり旗をつくる。 各校10数枚配布し、昇降口に置いたり、あいさつ運動で活用する。	健全育成会 各園・校
子ども教室	・市文化協会、体育協会などと連携していく。	企画会
学校支援ボランティア 登下校ボランティア	・学校、コーディネーターを通して募集を随時していく。	各校 地域の皆様
ノーメディアデー	・各園、各校ですでに実施しているので、それを継続していく。	各校保護者
部活動支援	・今後、検討をしていく	